

## 東京都港区 MCS地域包括会計事務所 第4回協議会 「地域における保険薬局の役割」

新緑の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

5月9日に港区のMCS税理士法人様が第4回目となる「MCS地域包括会計事務所協議会」を開催しました。今回は薬剤師の先生を交え、保険薬局について講演していただき、開催しました。

まず、丸山先生より「社会保障制度改革の全体像」という厚生労働省から発信されている資料を活用して、参加者に対して現状の社会保障制度の課題や問題点等、情報提供を行いました。また、ファイナンシャルプランナー（FP）の立場からみた高齢者の相談事例を挙げ、住み替えのケースを考えた中古・リノベーション物件についての事例を紹介しました。



続いて、港区薬剤師会在宅医療部理事、薬剤師でありながら、介護支援専門員の清水晴子先生に「地域医療介護における保険薬局の役割」というテーマにて薬局の基礎知識やそのあり方、抱える問題点などを講演していただきました。ひとくちに薬局といっても様々な業務やサービス提供（お薬相談等）の仕方など薬局によって違うことなど、基礎的なお話に加え、地域での立場を踏まえた営業活動の展開についても講演していただきました。また、地域包括ケアにおける薬局の重要性にも言及し、在宅での薬提供の難しさについてもお話をされていました。生活リズムをいかに把握することができるかがポイントになるのではないかとのことです。

さらに、薬局は高齢者にとっては診療所よりも身近に相談をしやすい環境にあるのではという事で、薬だけではない相談内容がどんどん増えているそうです。これら「生活を診る」という看護を今後も続けていければとの事でした。終了後には多くの方が清水先生との意見交換を行いました。



次回は「60代から始めるマネー&ライフプラン」をテーマに6月12日に開催予定です。